



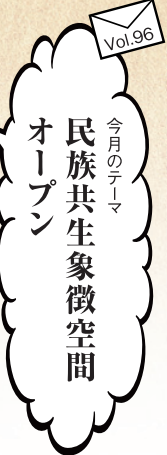
白老町のポロト湖畔にグランドオープンします。愛称は「(おおせい)で(歌)こと」という意味の「ウポポイ」。そのウポポイの魅力を口先に紹介しましょう。

ウポポイは、アイヌ文化の継承と創造発展、アイヌの歴史や文化を理解する場として整備されます。関東以北では初の国立博物館である「国立アイヌ民族博物館」、体験学習館や工房、交流ホール、伝統コタン(村)からなるフィールドミュージアム「国立民族



村木美幸
(アイヌ民族文化財団
常勤理事)

イランカラパテ！
よいよ「民族共生象徴空間」が四月二四日、



なるほどアイヌ文化エッセイ
ソノコ de ソノコ



アイヌ文化のことをもっともっと話したい！
本田優子と村木美幸の二人が、
その魅力を交代で執筆する
ソノコ(=お便り)形式のエッセイです。

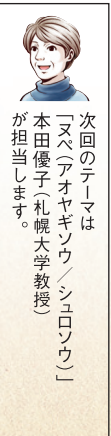


イラスト／莊田悠人

共生公園」「慰霊施設」があります。

博物館の展示は、アイヌを主体とした「私たち」という切り口で語られる「ことば」や「世界」など、六つのテーマからなり、手で触れて体感できる探求展示は子供も楽しく学べて「押し」。解説はアイヌ語を主に日本語、英語など八つの言語で表記される他、多言語音声ガイドも準備されているので海外からの来園者も安心して利用できます。

ゆったりとくつろぐことができる公園広場からは、湖から続く森を背景に伝統コタン、遠くに樽前山の独特な姿を望む四季折々の自然を満喫できます。茅葺のチセ(家)が並びコタンエリアでは、カムイノミ(神への祈



今回のテーマは
「又へ(アオヤギノウ／シユロソノウ)」
本田優子(札幌大学教授)
が担当します。

り)や炉辺でのユカラなどの物語世界の体験、子供の遊びやアイヌ語、伝統的生業や食など多彩なプログラムを準備。工房では、植物などの自然素材の加工処理から織りや編み、縫い、木彫など、ものづくりの工程を紹介。各地で活躍する工芸家の技を体感する特別企画も。ホールでの芸能プログラムは、デジタルアートなどの効果的な演出と伝統的発声法に磨きをかけた大勢での輪舞は圧巻です。学習館ではアイヌ料理体験、ムックリ(口琴)、トンコリ(五弦琴)の体験、キッズルームも常設しているので楽しく遊んで学べるプログラムが盛りだくさん。

ウポポイのもっとの魅力はアイヌの食文化。オハウ(汁物)などの伝統料理から伝統食材を使った創作料理、スイーツなども味わえるレストランやフードコートなどの飲食施設も期待大ですよ。ウポポイは、アイヌ文化を体感できるプログラムが充実しているので興味関心に合わせたコースプランを立てるのがお勧め！来て下さいね。

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間
北海道白老町に2020.4.24 OPEN



- 本田優子(ほんだゆうこ):金沢市生まれ。札幌大学教授。北大卒業後11年間平取町二風谷に住み、アイヌ語講師を務める。
- 村木美幸(むらきみゆき):白老町生まれ。アイヌ民族文化財団常勤理事。先住民アイヌの一員として文化継承活動に努める。
- 莊田悠人(しょうだゆうと):平取町二風谷生まれ。漫画家兼イラストレーター。幼い頃のアイヌ文化が原風景。東京在住。